

日本顕微鏡学会会報

2005
No.3

社団法人 日本顕微鏡学会

■2005年11月30日発行

■〒112-0012 東京都文京区大塚 3-11-6

■TEL: 03-5940-7290 ■FAX: 03-5940-7980

大塚三丁目ビル

■E-mail: satomi@realize-at.jp

リアライズ AT 株式会社

■URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsm>

◇第62回学術講演会

標記講演会が下記要領にて開催されます。多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。来年はIMC16が9月に行われるため1日のシンポジウム形式で行います。

会期：2006年5月20日（土）

会場：横浜市立大学 金沢八景キャンパス

（神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2）

学術講演テーマ「日本電子顕微鏡学の創生期（仮題）」ほか
問い合わせ先：

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学医学部解剖学第一講座

澤田 元

E-mail: hsawada@med.yokohama-cu.ac.jp

TEL: 045-787-2567 FAX: 045-787-2568

◇第17回電子顕微鏡大学について

日本顕微鏡学会は、材料研究に従事する研究者や技術者や初心者を対象に電子顕微鏡の基礎技術についてのセミナー「電子顕微鏡大学」を企画しています。電子顕微鏡の予備知識がなくても受講できる、平易でしかも実際に役立つ講義内容が特徴です。

受講希望及び詳細についてはE-mail・FAX・葉書で下記までご連絡ください。

プログラム等詳細は、おってお知らせします。

会期：2006年4月20日（木）・21日（金）

会場：東京工業大学 デジタル多目的ホール

（東京都目黒区）

問い合わせ先：

〒060-6826 札幌市北区北 13 条西 8 丁目

北海道大学エネルギー先端工学研究センター

電頭大学事務局

E-mail: dendai@ufml.caret.hokudai.ac.jp

ホームページ：

http://www.soc.nii.ac.jp/jsm/denken_univ_top.html

◇日本顕微鏡学会関東支部第30回学術講演会について

標記の講演会を下記要領にて開催いたします。

多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

実行委員長：大門建夫（帝京大学医学部解剖）

ホームページ：

http://anatomy.iwate-med.ac.jp/EMKanto/2006_30/Main.htm

『顕微鏡技術が拓く新たなナノサイエンス』

日時：平成 18 年 3 月 4 日（土）

会場：東京工業大学 大岡山キャンパス 西 9 号館デジ

タル多目的ホール他（東急目黒線または大井町

線 大岡山駅下車 徒歩約 5 分）

参加費：（含予稿集代）

3,500 円（顕微鏡学会会員、協賛学会会員）

4,500 円（非会員）

学生は無料（予稿集は希望者に 1,500 円で販売）

懇親会：3,000 円（学生：1,000 円）

講演会のテーマ：先端解析・評価技術が提示した多彩な「ナノワールド」は、一見まったくの異分野と思われていた材料-生物の本質的諸現象が、実はナノの地平でつながっていたことを明らかにしつつあります。「生物系と材料系の交流」は顕微鏡学会本来の基調を成すものですが、新しい共通認識に立った議論が「次世代ナノサイエンス」のブレークスルーをもたらすものと期待されています。そこで今年度の関東支部講演会では『顕微鏡技術が拓く新たなナノサイエンス』をテーマに以下のような講演を企画いたしました。

講演内容：午前中は材料・生物分野の共通セッションとして「顕微鏡技術」が開発に大きく貢献した生体材料・新素材を特集します。生体材料や創薬への応用も視野に入れた材料・生物分野における基礎と応用に加え、電子顕微鏡を用いたより高度な材料の機能創生に向けた取り組みを紹介いたします。また今年度の特別講演は有機材料開発への新たな指針となる「自己組織化」技術と、病理組織から半導体デバイスまで幅広く適用が試みられている「超高圧電子顕微鏡による 3 次元観察技術」の 2 本立てとしました。午後は顕微鏡屋が避けて通れない話題「試料作製と解析技術の新展開」を、

引き続き共通セッションとして取り上げます。中でもあらゆる分野で伸長著しいFIB技術と高次生命現象の画像データ解析手法を紹介します。その後は、材料・生物系の個別セッションとなりますが、今年は顕微鏡の本質的機能を見直そうと「見る」にこだわり、ここでも「共通テーマ：見るの最先端」を掲げました。材料系では電子顕微鏡技術の新たなブレイクスルーと期待される収差補正技術、高性能STEMを始め、最近、応用分野を広げているアトムプローブの話題も取り上げます。また生物分野では強力な解析手段として注目を集めている位相差電子顕微鏡、ラマン分光法、高感度mRNA-ISH法の最新技術を紹介します。また例年ご好評を頂いております、パラレルセッション「初心者のための顕微鏡基礎技術」は「様々な固定法」と題して生物系試料の固定技術を総覧します。いずれも第一線でご活躍の先生方、研究者の方々にご講演いただきます。奮ってご参加下さいませようお願いいたします。

詳細は支部講演会ホームページをご覧ください。

※一般からのポスター投稿を募集します：第28回講演会より実施しておりますポスターセッションが好評につき、今年度も投稿を募集いたします。特に学生や大学院生など、若い研究者からの応募を歓迎いたします。優れたポスターには『ベストポスター賞』が授与されます。投稿者名、所属、連絡先(TEL, FAX), E-mailとA5横書きの原稿(カメラレディー)を作成の上、平成18年1月11日(水)までに、下記送付先までお送り下さい。未完成の研究内容、検討中の話題も歓迎します。是非、あわせてのご参加をお願いいたします。

予稿原稿送付先、問い合わせ先：

朝山匡一郎 (副実行委員長, 事務局)
〒187-8588 東京都小平市上水本町5丁目20-1
(株)ルネサステクノロジ 解析技術開発部
E-mail: asayama.kyoichiro@renesas.com
TEL: 042-312-7404 FAX: 042-327-8691

◇平成18年度研究部会公募の案内

申請用紙の請求、手続の詳細などは学会事務局へご連絡ください。募集の締切は2006年1月13日までです。

◇永年会員について

正会員歴30年以上でかつ満65歳以上の会員は5年分の会費を一括前納することにより永年会員となることが出来ます(永年会員：終生正会員の資格を保有)。永年会員の申請については学会事務局へお尋ねください。

◇ホームページについて

学会ではホームページを開設しています。会員各位のご意見をお待ちしております。URLは以下のとおりです。

URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsm>

また、学会のE-mailアドレスは以下のとおりです。

◇関係学協会のお知らせ

1) 第8回薄膜基礎講座

日時：12月8日(木)～9日(土)

会場：東京工業大学

問い合わせ先：

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13

本郷コーポレーション402

日本表面科学会事務局「第8回薄膜基礎講座係」

TEL: 03-3812-0266 FAX: 03-3812-2897

E-mail: shomu@sss.jp

2) さきがけライブ2005

日時：12月22日(木)10:00～17:00

会場：東京国際フォーラムB7ホール

問い合わせ先：「さきがけライブ2005運営事務局」

(株)ザ・コンベンション内

TEL: 03-3423-4180

E-mail: sakigake-live@the-convention.co.jp

3) バイオテクノロジーと表面科学技術

日時：平成18年1月27日(金)

会場：神戸大学滝川記念学術交流会館

問い合わせ先：日本表面科学会関西支部幹事

大阪府立大学 産学官連携機構 河村裕一

TEL: 072-254-9832 FAX: 072-254-9935

E-mail: kwmr@riast.osakafu-u.ac.jp

4) Symposium on Zeolites and Microporous Crystals (ZMPC2006)

日時：平成18年7月30日(日)～8月2日(水)

会場：米子コンベンションセンター

問い合わせ先：

〒680-8552 鳥取市湖山町南4-101

鳥取大学工学部物質工学科

丹羽 幹 ZMPC2006 Chairman

TEL & FAX: 0857-31-5256

E-mail: zmpc2006@chem.tottori-u.ac.jp

5) 平成16年度風戸研究奨励金及び風戸奨励賞公募 応募締切日：12月末日(消印有効)

問い合わせ先：

〒196-8558 東京都昭島市武蔵野三丁目1番2号

日本電子(株)内 財団法人 風戸研究奨励会

事務局 谷部憲一

6) 平成18年度研究奨励金対象研究計画の募集

応募締切日：平成18年1月31日必着

問い合わせ先：

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-12

(山萬ビル4階)

社団法人 新化学発展協会 研究奨励金係

TEL: 03-5297-8820 FAX: 03-5297-8821

E-mail: aspronc@aspronc.org

URL: http://www.aspronc.org

◇平成16年度第5回理事会議事要旨

日時：平成17年5月31日（火） 15：30～17：30

会場：エポカルつくば4階406号室

出席者：(理事) 外村 彰, 澤田 元, 大野伸一, 平山 司, 石村和敬, 松井良夫 (第61回学術講演会実行委員長兼任), 大貫惣明 (北海道支部長兼任), 脇田 稔, 高野吉郎, 寺内正己, 倉田博基, 高井義造, 永山國昭, 森田清三, 友清芳二 (九州支部長兼任), (監事) 矢崎和盛

(オブザーバー)

(役員候補)

会長候補者 (理事候補者)：山科正平

理事候補者：藤川清三 (北海道新支部長兼任), 上野武夫, 柿林博司, 川上速人, 関口隆史, 中村裕昭, 福島球琳男, 桑野範之 (第50回シンポジウム実行委員長兼任), 横田貞記

監事候補者：下山 宏

(委員長・委員・支部長) 市野瀬英喜 (欧文誌編集委員長), 古屋一夫 (IMC組織委員), 山口正視 (第16回サマースクール実行委員長), 丹司敬義 (広報委員長), 長船哲齊 (関東支部長), 飯島澄男 (IMC組織委員長), 大槻勝紀 (関西支部長・臨床分子形態学会理事)

欠席者：(監事) 井出千束

【報告事項】

1. 庶務報告：第4回理事会以降の会務報告が行われた。
2. 欧文誌編集委員会報告：編集進捗状況の報告が行われた。
3. 和文誌編集委員会報告：編集進捗状況の報告が行われた。
4. 技術認定委員会報告：10月15日に行われる技術認定試験について説明が行われた。
5. 広報委員会報告：ホームページを一新した後の利用状況の報告が行われた。
6. 会員増強委員会報告：正会員の会員数は減少の傾向を止められなかったが、2002年度から減少率は小さくなっていること。賛助会員は増加したこと。今後も継続的に活動していく検討をしている旨報告された。
7. 学術運営委員会・分科会・研究部会報告：澤田委員長より各分科会・研究部会の平成16年度事業・会計について報告が行われた。また、理事会前に行われた学術運営委員会・分科会・研究部会責任者合同会議について報告が行われた。
8. アーカイブズ部会報告：澤田副会長より4月27日に行われた第1回電子顕微鏡アーカイブズ部会について報告が行われた。初期の重要な先生方の経験を記録に残す

ためインタビューを行い資料にしていくこと、最終目標としては1970年代までのアーカイブ資料をホームページに掲載すること、日本における電顕の歴史についてパンフレットを作成しIMC16にて配布することが決定した。

9. 各支部報告：各支部から16年度事業報告・決算及び17年度事業計画・予算について報告があった。
10. 支部区割検討委員会報告：大野委員長より3月4日に行われた委員会の報告が行われた。定款や支部内規には支部の役割についての規定はないため、支部の区割を検討する前に各支部の役割を検討する必要があるため、6月3日に第2回委員会を開催することとなった。
11. 第15回電子顕微鏡大学報告：市野瀬委員長より東京工業大学で行なわれた本年度電顕大学について89名参加があり、盛会裏に終了した。また、参加者に後日郵送している質問回答集をまとめて冊子にし「電子顕微鏡Q&A」と題し、販売することを検討している旨、報告があった。
12. 第16回サマースクール進捗状況報告：山口実行委員長より7月29～30日に日本女子大学で行なわれる本年度サマースクールについて準備状況報告が行われた。また、平成16年度発行した「電顕入門ガイドブック」をテキストに使用することが報告された。
13. 第50回シンポジウム準備状況報告：桑野実行委員長より11月1～2日に九州大学で行われるシンポジウムの準備状況報告が行われた。
14. 第62回学術講演会準備状況報告：澤田実行委員長より標記大会・講演会の準備状況について日程は5月または6月、会場は横浜中心部または横浜市立大学、東京医科歯科大学を候補地とし、IMC16があるためシンポジウム形式とし、総会を含め1日のみ行う旨、報告があった。
15. IMC16準備状況報告：飯島組織委員長、古屋組織委員長よりIMC16準備状況報告が行われた。
16. 日本臨床分子形態学会報告：大槻日本臨床分子形態学会理事より学会名を日本臨床電子顕微鏡学会から日本臨床分子形態学会に変更したこと、また、活動報告として当学会との合同シンポジウム、日本組織細胞化学会との合同企画を行った旨報告があった。

【議題】

1. 平成16年度事業報告の件
平山常務理事より総会資料に基づき標記の件について説明が行われ、承認の後、総会に諮ることとした。
2. 平成16年度収支決算報告の件
松井常務理事より総会資料に基づき標記の件について説明が行われ、承認の後、総会に諮ることとした。
3. 監査報告
矢崎監事より4月22日に行われた監査結果について法令及び定款に照らして正当である旨の報告が行われた。

4. 平成 17 年度事業計画の件
平山常務理事より総会資料に基づき標記の件について説明が行われ、承認の後、総会に諮ることとした。
5. 平成 17 年度収支予算の件
松井常務理事より総会資料に基づき標記の件について説明が行われ、承認の後、総会に諮ることとした。
6. 会費滞納者除名の件
平山常務理事より 3 年以上会費を滞納している会員へ会費納入を働きかけ、8 月末日までに納入無き会員に対しては定款第 14 条に基づいて除名する旨の提案がされ、承認し、総会に諮ることとした。
また、平成 16 年 8 月の日本学会事務センター破綻により昨年度の除名処理が行われなかったため、昨年度の除名候補者もあわせて働きかけることが承認された。
7. 定款変更の件
平山常務理事より前回理事会にて決議された、第 2 条事務所所在地変更、第 33 条総会召集時期、第 41 条理事会委任状についての変更を行うべく文科省と打ち合わせを行ったが、定款の全見直しが必要であるとの指摘を受け、今回の総会では第 2 条事務所所在地変更以外は内諾を得られなかった旨説明があった。結果、第 2 条のみの変更を行うことが提案され承認された。
8. 顧問推薦の件
前回理事会から継続審議となっていた顧問について関東支部より推薦があった黒岩常祥会員、大隅正子会員の顧問推薦書が提出され、顧問就任が承認された。
9. 総会・評議員会運営の件
平山常務理事より総会進行案が提出され、了承された。
10. 特別表彰の件
平山常務理事より日本学会事務センター破綻による学会の危機を乗り越えるため迅速な対応を行った松井常務理事および山本義道氏に特別表彰を授与したい旨提案があり承認された。
11. 入退会の件
平山常務理事より 2005 年 3・4・5 月分の会員異動について報告が行われ、承認された。
- | | 入会 | 退会 | 会員数 |
|------|----|----|------|
| 正会員 | 44 | 37 | 1925 |
| 学生会員 | 24 | 23 | 60 |
| 賛助会員 | 6 | 2 | 75 |
12. 協賛等の件：協賛等の件
平山常務理事より標記の件につき説明があり、14 件の協賛・掲載等を了承した。
13. 次年度理事会への申し送りの件
平成 17 年度理事会への申し送り事項に関し、平山常務理事より配布資料に基づき説明が行われた。審議の後、以下の項目について申し送ることとした。
①学会の運営 ②会員数の維持・拡大 ③財務 ④国際会議の件 ⑤分科会・研究部会について ⑥学会誌につ

いて（和文誌・JEM）

◇平成17年度通常総会議事要旨

平成 17 年 6 月 2 日 12 時よりつくば国際会議場（エポカルつくば）（つくば市）において平成 17 年通常総会を開催した。

定足数：116 名（役員および評議員総数 231 名の 1/2）

出席者：182 名（うち書面により出席者 85 名）

上記のとおり出席者が定足数に達したので、定款 35 条により外村会長が議長席につき開会を宣し、議事録署名人に大野伸一、平山 司の両氏を選出し、議案の審議に入った。

第 1 号議案 平成 16 年度事業報告の件：承認

第 2 号議案 平成 16 年度収支決算報告の件：承認

第 3 号議案 平成 17 年度事業計画の件：承認

第 4 号議案 平成 17 年度収支予算の件：承認

第 5 号議案 定款変更の件：承認

第 6 号議案 会費滞納者除名の件：平成 14 年度から会費を滞納している会員を定款 14 条に基づいて除名する旨の説明が行われ、承認された。

第 7 号議案 次期評議員選任の件：定款 23 条の規定によって選挙により選出された評議員について説明が行われ、承認された。

第 8 号議案 役員選任の件：本総会終了をもって退任する理事および監事並びに新任理事・監事候補者について説明が行われ、承認された。退任および新任の理事・監事は次のとおり。

（退任理事） 外村 彰、澤田 元、大貫惣明、脇田 稔、岩槻正志、大野伸一、倉田博基、高井義造、高野吉郎、寺内正己、松井良夫、石村和敬、永山國昭、平山 司、森田清三、友清芳二

（退任監事） 矢崎和盛、井出千束

（新任理事） 山科正平、藤川清三、柿林博司、上野武夫、川上速人、関口隆史、中村裕昭、福島球琳男、松井良夫、横田貞記、大谷 修、高井義造、永山國昭、平山 司、弘津禎彦、桑野範之

（新任監事） 下山 宏、依藤 宏

続いて定款 16 条により新任理事による会長、副会長および常務理事の互選が行われ、承認された。

会 長：山科正平

副会長：弘津禎彦

常務理事：川上速人、大谷 修、松井良夫、平山 司

◇平成17年度第 1 回理事会議事要旨

日 時：平成 15 年 6 月 3 日（金）12：00～13：30

会 場：エポカルつくば 4 階 404 号室（つくば市）

出席者：（理事）藤川清三、上野武夫、柿林博司、川上速人、関口隆史、中村裕昭、福島球琳男、松井良夫、大谷 修、高井義造、平山 司、横田貞記

(監事) 下山 宏, 弘津禎彦

欠席者: (理事) 桑野範之

【議題】

1. 顧問推薦の件

山科会長から慣例により外村前会長を顧問に推薦したい旨提案があり, 定款 29 条に則り審議した結果, 承認され, 委嘱することとした。

2. 平成 15・16 年度理事会からの申し送りについて

平山常務理事より平成 16 年度理事会からの申し送り事項が説明され, 意見交換の後, 以下の各事項について対応していくこととした。

①学会の運営

②会員数の維持・拡大

③財務

④国際会議の件

⑤分科会・研究部会について

⑥学会誌について

その他に以下の事項についても検討していくこととした。

①各委員会 (アーカイブズ部会, 会員増強委員会, 支部区割検討委員会) の今後の活動について

②個人情報の取扱いについて学会のプライバシーポリシーを作成

3. 平成 17 年度年間予定

平山常務理事より平成 17 年度年間予定が説明された。